

柴山健太郎論文・著書一覧 (1953年～2009年)

年次	発行所	書籍・雑誌名	著者名	収録論文名
1953年9月	農民運動研究会	農民運動研究 第3号	佐久間 弘	「小高干拓解放闘争と農民の統一戦線」
1956年12月	三一書房	独占資本と闘う農民運動	佐久間 弘	「甘藷価格闘争の組織と戦術」
1958年4月	御茶の水書房	商品流通と協同組合の機能—第5部「農民運動と農協」	佐久間 弘	「県・県信連を震撼させた常東営農資金闘争」
1959年10月	三一書房	お菓子の経済学	柴山健太郎	
1960年7月	三一書房	共著／農民運動の基本問題	佐久間 弘	「農民闘争の組織と戦術」
1961年4月	東洋経済新報社	共著／日本農民運史	佐久間 弘	「小作争議の事件別考察、統計的分析」
			佐久間 弘	「農地改革と戦後農民運動」
			佐久間 弘	「新しい農民運動の誕生」
1962年6月	法政大学出版局	共著／牛乳の経済学	大島清／ 柴山健太郎	
1962年8月30日	新しい路線 第39号	現地ルポ／佐久の乳価闘争—乳業資本を揺るがす嵐	農民運動研究会	
1963年1月15日	新しい路線 第52号	農業近代化をめぐる農民の動き—新潟県蒲原地方の大型トラクターの共同利用を見て	佐久間 弘	
1965年2月22日	新しい路線 第125号	ばくろされた自衛隊のクーデタ計画—三矢計画は独占の未来図	佐久間 弘	
1970年10月	労働者党通信 第10号	われわれは黒い水、黒い川、黒い空気を拒否する—公害闘争発展のために	労働者党全 国協議会	

1970年12月号	現代の理論	戦後農業革命論争 (上)	佐久間 弘	
1971年3月号	現代の理論	戦後農業革命論争 (中)	佐久間 弘	
1971年4月号	現代の理論	戦後農業革命論争 (下)	佐久間 弘	
1970年2月号	労働運動研究	産業再編成と日本独 占の70年代政治戦 線	佐久間 弘	
1970年12月号	労働運動研究	「アジア侵略を内乱 へ」のスローガンは 革命的か?	佐久間 弘	
1971年3月号	労働運動研究	1万2千と対決する 29人の前衛	佐久間 弘	
1971年5月号	労働運動研究	書評／藤井治夫著 『自衛隊—その戦 力』	佐久間 弘	
1971年11月号	労働運動研究	金属・機械産業にお ける住友独占の組織 攻撃と労働者の闘争	佐久間 弘	
1972年1月号	労働運動研究	堺コンビナートを揺 るがす赤腕章		
1972年11月1 日	労働者党通 信第27・28 合併号	青年に訴う(草案)	佐久間 弘	
1972年8月号	労働運動研究	書評／ルチアーノ・ グルッピ著『マルク ス主義国家論』(上・ 下)	佐久間 弘	
1972年12月号	労働運動研究	討論・生産点闘争の 諸問題(上)	労研編集部	
1973年1月号	労働運動研究	討論・生産点闘争の 諸問題(下)	労研編集部	
1973年2月	講談社	勝海舟全集「開国起 源I」	柴山健太郎	付注補／オランダ長 崎商館長レフイソン 文書和訳

1973年9月1日	労働者党通信第37号	帝国主義とファシストのクーデタを糾弾しチリ人民の闘いに連帯を表明する	東京都委員会
1973年9月号	労働運動研究	スト権奪還に前進する国鉄労働者	佐久間 弘
1974年12月号	労働運動研究	163日におよんだミツミ電機の不当解雇撤回闘争	佐久間 弘
1975年1月号	労働運動研究	鹿島臨海コンビナートと農業の変貌(1)	佐久間 弘
1975年2月号	労働運動研究	鹿島臨海コンビナートと農業の変貌(2)	佐久間 弘
1975年3月号	労働運動研究	鹿島臨海コンビナートと農業の変貌(3)	佐久間 弘
1975年4月号	労働運動研究	シンポジウム／農業の現状と闘いの方向	労研編集部
1975年5月号	労働運動研究	鹿島臨海コンビナートと農業の変貌(4)	佐久間 弘
1975年5月	三一書房	共訳／アーニー・ロバーツ著『労働者支配制』	手嶋三郎・柴山健太郎
1975年6月号	労働運動研究	自衛隊におけるクーデタの研究	佐久間 弘
1975年6月	御茶の水書房	鹿島巨大開発	佐久間 弘
1976年9月号	労働運動研究	総評の危機とその問題点	佐久間 弘
同上	同上	ヨーロッパ共産党・労働者党会議最終文書『ヨーロッパにおける平和・安全・協力・社会進歩のために』	労研編集部
1976年11月10日	労働者第21号	中国－10月政変と文化大革命	佐久間 弘

1976年11月号	労働運動研究	宮本顕治の『敗北の戦略』(上)	佐久間 弘
1976年12月号	労働運動研究	宮本顕治の『敗北の戦略』(中)	佐久間 弘
1977年1月号	労働運動研究	宮本顕治の『敗北の戦略』(下)	佐久間 弘
1978年3月10日	労働者第37号	農民運動史研究会設立さる	佐久間 弘
1978年3月号	労働運動研究	知られざる農民運動家—立川光栄さんの思い出	佐久間 弘
1978年10月号	労働運動研究	戦後綱領論争の教訓(1)	佐久間 弘
1978年11月号	労働運動研究	戦後綱領論争の教訓(2)	佐久間 弘
1978年12月10日	労働者第46号	『平和と社会主義の批判に答える』	佐久間 弘
1978年12月	農民運動研究第2号	書評 大島清/J・ダンマン著『経済発展と農業』	佐久間 弘
1979年1月号	労働運動研究	戦後綱領論争の教訓(3)	佐久間 弘
1979年3月号	労働運動研究	戦後綱領論争の教訓(4)	佐久間 弘
1979年5月号	労働運動研究	労働組合はだれのためにあるのか?	佐久間 弘
1979年7月号	労働運動研究	戦後綱領論争の教訓(5)	佐久間 弘
1979年9月号	労働運動研究	戦線統一で揺れた総評大会	佐久間 弘
1979年12月号	労働運動研究	朴政権を崩壊に追いつめた韓国人民の闘い	佐久間 弘
1980年5月号	労働運動研究	正念場を迎える全通労働運動	佐久間 弘
1980年7月号	労働運動研究	都教組の統一に努力	佐久間 弘

1980年11月号	労働運動研究	を！ 暴力労務政策と対決するシェル労組	佐久間 弘
1981年1月号	労働運動研究	日本農業の危機と民主的変革の展望	佐久間 弘
1981年4月号	農民運動研究第10号	画期的な原発リコールの成功	佐久間 弘
1982年2月号	農民運動研究第13号	戦後農業革命論争(上)	佐久間 弘
1982年6月号	農民運動研究第14号	戦後農業革命論争(下)	佐久間 弘
1982年2月号	労働運動研究	労働者に本工も臨時工もない	柴山健太郎
1982年4月号	労働運動研究	書評／スタニシキス著『ポーランド社会の弁証法』	柴山健太郎
1982年6月5日	労働者第94号	不破哲三『スターリンと大国主義批判』	柴山健太郎
1982年7月5日	労働者第96号	統一こそ勝利への道ー日本共産党第16回大会決議批判ー	柴山健太郎
1982年9月号	労働運動研究	歴史も展望も見失った日共大会	柴山健太郎
1982年12月	農民運動研究第16号	書評 近藤康男・大島清『基本法農政の総点検ー20年の総括』	柴山健太郎
1982年12月号	労働運動研究	鈴木政権崩壊と自民党の危機	柴山健太郎
1983年1月号	労働運動研究	ポーランドの教訓(1)	柴山健太郎
1983年2月号	労働運動研究	ポーランドの教訓(2)	柴山健太郎
1983年3月号	労働運動研究	ポーランドの教訓(3)	柴山健太郎
1983年3月5日	労働者第111	燃えるラテンアメリカ	訳／柴山健

	号	カー崩壊する軍事独裁ー（上）	太郎	
1983年4月5日	労働者第113号	燃えるラテンアメリカ崩壊する軍事独裁ー（下）	訳／柴山健太郎	
同上	同上	国労鹿児島の間を孤立させるなー弾圧をやめろ	柴山健太郎	
1983年5月号	労働運動研究	座談会「60年安保闘争の表と裏」	労研編集部	
1983年6月号	労働運動研究	20日間、業務管理を闘い抜いた国労鹿児島地本の現地を見る	柴山健太郎	
1984年1月号	労働運動研究	座談会「平和・反核運動の拡大が当面の環だ」	労研編集部	
1984年6月号	労働運動研究	時短闘争に勝利した相鉄労組	柴山健太郎	
1984年6月	農民運動研究21号	大島清代表幹事追悼号	柴山健太郎	「大島清さんの思い出」
1984年8月号	労働運動研究	全般的危機の問題によせて	柴山健太郎	
1984年11月号	労働運動研究	社会主義への平和的移行とプロレタリア独裁	柴山健太郎	
1984年11月5日	労働者第146号	秩父困民党の戦跡を尋ねて	柴山健太郎	
1985年2月号	労働運動研究	座談会「総評労働運動の危機とは何かーその根因と問題点一」（上）	労研編集部	
1985年3月号	労働運動研究	座談会「総評労働運動の危機とは何かーその根因と問題点一」（下）	労研編集部	
1986年冬号	社会評論社	社会主義理論フォー	柴山健太郎	「帝国主義間競争の

		ラム／現代日本資本主義分科会一方向と討論		激化と深まる日本資本主義の矛盾」
1986年1月号	労働運動研究	反動攻勢に反撃態勢の構築を	柴山健太郎	
1986年2月	農民運動研究19号	常東農民組合の甘藷価格闘争	柴山健太郎	
1986年5月号	労働運動研究	日本農業は過保護か？	柴山健太郎	
1986年5月上旬号	賃金と社会保障	新しい出発点—強まる民主的潮流 AFL・CIO 第16回 大会に見る	柴山健太郎	
1986年6月	農民運動研究第22号	外圧利用の中曽根戦略	柴山健太郎	
1986年8月号	労働運動研究	自民党“すり寄り連合論”の破産	柴山健太郎	
1987年2月号	労働運動研究	京都座会と「国際国家論」の狙い	柴山健太郎	
1987年4月号	労働運動研究	フェドール・ブルラツキー「ソ連社会の構造改革とゴルバチョフ革命」	柴山健太郎	
1987年7月号	労働運動研究	売上税以降の政局と「86年体制」	柴山健太郎	
1987年10月15日	労働者第184号	より良き社会体制をめざし平和的競争と協力を—ドイツ社会主義統一党・社会民主党の歴史的共同文書—	柴山健太郎	
1987年10月	農民運動研究第24号	農民戦線の分裂と日本共産党の「農民運動全国懇」	柴山健太郎	
1988年2月号	経済評論	東西ドイツ接近の政治的・経済的背景	柴山健太郎	

1988年4月15日	労働者 190号	ヨーロッパ駆け歩き ー誠実で率直な左翼指導者ー	柴山健太郎	
1988年5月号	労働運動研究	EC 完全統合とヨーロッパ左翼の政治	柴山健太郎	
1988年6月号	労働運動研究	EC 完全統合とヨーロッパ左翼の政治 (続)	柴山健太郎	
1989年1月	社会評論社	共著／生きているグラムシ(没後 50周年記念論文集) 石堂清倫・いいだもの・片桐薫編	柴山健太郎	分科会報告「第三世界とグラムシ理論」
1988年1月15日	労働者第187号	全国討論集会「社会主義と前衛党」	柴山報告「社会主義をめざす連合を」	
1988年10月15日	労働者第196号	連続農業シンポー日本型農業めぐり議論	柴山報告「EU 共通農業政策の転換と日本農業の改革」	
1988年12月15日号	社会運動	追悼・家坂哲男 証言「日農第6回大会の乱闘」	柴山健太郎	
1989年7月号	経済評論	ドイツ社会民主党の新しい基本綱領草案 (I)	訳／柴山健太郎	
1989年8月号	経済評論	ドイツ社会民主党の新しい基本綱領草案 (II)	訳／柴山健太郎	
1989年8月15日	労働者第205号	『タイム』誌7月17日号／アキレ・オケット「左翼連合政権を目指して」	訳／柴山健太郎	
1989年9月号	経済評論	ドイツ社会民主党の新しい基本綱領草案 (III)	訳／柴山健太郎	

1989年10月号	経済評論	EC 市場統合とヨーロッパ左翼の再編成	柴山健太郎	
1989年10月号	現代の理論	西独社民党とイタリア共産党との対話	訳／柴山健太郎	ペーター・グロッツ VS アキレ・オケット
1989年11月号	経済評論	ドイツ社会民主党の新しい基本綱領草案 (正誤表)	柴山健太郎	
1990年3月号	労働運動研究	座談会「西欧左翼の見た東欧社会主義」	訳／柴山健太郎	
1990年3月15日	労働者第211号	『マルキシズム・ツデイ』2月号『イタリア共産党の新しい選択』(上)	訳／柴山健太郎	
1990年4月15日	労働者第212号	『マルキシズム・ツデイ』2月号『イタリア共産党の新しい選択』(下)	訳／柴山健太郎	
1990年5月号	労働運動研究	東独総選挙の結果とドイツ統一の動向	柴山健太郎	
1990年6月号	経済評論	マルク統一と東西ドイツの攻防	柴山健太郎	
1990年11月15日	労働者第219号	ドイツ統一で保守が優位－旧東独地域の州議選結果	柴山健太郎	
1990年12月号	労働運動研究	難航するガット農業交渉の背景	柴山健太郎	
1991年冬号	窓 社	ドイツ社民党基本価値委員会／ドイツ社民党大会への提起	柴山健太郎	訳／「ドイツ統一の任務」
1991年4月15日	労働者第223号	『ポリティカル・アフエアーズ』誌3月号／ガス・ホール米共産党書記長『湾岸戦争の真相』	訳／柴山健太郎	
1991年4月号	経済評論	統一後ドイツの政治力学	柴山健太郎	

1991年5号	労働運動研究	明暗分ける統一後のドイツ経済	柴山健太郎	
1991年6月号	経済評論	特集＝欧米左翼が見た湾岸戦争	【解説】柴山健太郎 共訳＝手嶋三郎・柴山健太郎	柴山健太郎訳／メアリ・カルドア「近代性と非近代性の空想的戦争」
1991年7月号	労働運動研究	海外派兵に揺れたドイツ社民党大会	柴山健太郎	
1991年7月30日号	エコノミスト	なぜ SPD は域外派兵を認めたか	柴山健太郎	
1992年5月号	労働運動研究	EC 統合と新しい社会民主主義	柴山健太郎	
1992年5月号	経済評論	統一ドイツを揺るがす極右過激主義	柴山健太郎	
1992年6月号	労働運動研究	揺らぐコール政権の基盤	柴山健太郎	
1992年12月	社会評論社	中島道治著『わがガン生活の断章－その個人的体験と社会的観察－』	柴山健太郎 「発刊に当たって」	
1993年1月15日	労働者第242号	全国代表者会議討論議事録	第3報告(柴山)／「国際情勢について検討すべき点」	
1993年2号	経済評論	ドイツ社民党臨時大会	柴山健太郎	
1993年5月号	労働運動研究	特集＝反独占農民運動の先駆者山口武秀	柴山報告「戦後農業革命論争と常東の反独占農民運動」	
1993年夏号	窓社	「ワイマール崩壊の前夜？」	柴山健太郎	「ドイツにおける極右過激主義運動」
1993年7月15日	新時代〈「労働者」を同年	2 大政党論の落とし穴にはまるな	柴山健太郎	

	1月15日号 から改称)通 巻第248号			
1993年12月号	労働運動研 究	ドイツをおおう賃下 げ・時短攻勢	柴山健太郎	
1994年1月	社会評論社	欧州統合と新生ドイ ツの政治再編	柴山健太郎	
1994年4月号	労働運動研 究	激化する連立与党内 の路線闘争	柴山健太郎	
1994年5月15 日	新時代第257 号	茨城・鹿島町長選一 買収選挙の中で五十 里候補が再選勝ち取 る	柴山健太郎	
1994年5月号	労働運動研 究	初戦で連敗のコール 政権与党	柴山健太郎	
1994年8月号	労働運動研 究	欧州統合の主導権を 握った欧州社会党	柴山健太郎	
1994年10月15 日	新時代第262 号	山本正美さん逝く	柴山健太郎	
1994年12月号	労働運動研 究	コール政権の薄氷の 勝利が意味するもの	柴山健太郎	
1995年1月号	労働運動研 究	マルチン・ブル「西 ヨーロッパ共産党の 将来」	訳／柴山健 太郎	
1995年2月	季報／唯物 論研究	書評・リヒアルト・ ゾルゲ著『二つの危 機と政治』	柴山健太郎	「15年戦争解明の1 級資料」
1996年1月号	労働運動研 究	SPD マンハイム大会 —ラフオンテヌ又 勝の背景	柴山健太郎	
1996年12月号	進歩と改革	ドイツ統一後の欧州 社会民主主義勢力の 現状と課題	柴山健太郎	
1996年5月号	労働運動研 究	3州議会選挙でドイ ツ社民党が大敗	柴山健太郎	
1997年2月15	新時代第289	「オリーブの木」連	柴山健太郎	

日	号	合政権に挑むネオ・ネオシスト勢力		
1997年3月号	労働運動研究	「飯島侑氏を偲ぶ会」－無類の世話好きだった飯島君	柴山健太郎	
1997年4月号	労働運動研究	ドイツ労働総同盟(DGB)の新綱領	訳・解説／柴山健太郎	
1997年5月上旬号	賃金と社会保障	ドイツ労働総同盟の新基本綱領(上)	訳・解説／柴山健太郎	
1997年7月上旬号	賃金と社会保障	ドイツ労働総同盟の新基本綱領(下)	訳・解説／柴山健太郎	
1997年9月	1・9会	1・9会文集第2集	柴山健太郎	「あるアプレゲール世代人の青春回想」
1997年9月上旬号	賃金と社会保障	新段階に入った欧州の社会民主主義	柴山健太郎	
1997年12月15日	新時代第299号	大成功に終わったグラムシ国際シンポジウム	柴山健太郎	
1998年3月号	労働運動研究	欧州統合の深化・拡大と欧州社会民主主義の挑戦(1)	柴山健太郎	
1998年4月	御茶の水書房	共著／社会主義理論学会編『20世紀社会主義の意味を問う』	柴山健太郎	「ドイツ社民党の党史の幾つか問題に寄せて」
1998年4月号	労働運動研究	欧州統合の深化・拡大と欧州社会民主主義の挑戦(2)	柴山健太郎	
1998年5月号	労働運動研究	欧州統合の深化・拡大と欧州社会民主主義の挑戦(3)	柴山健太郎	
1998年6月号	労働運動研究	安東仁兵衛君の早すぎる死	柴山健太郎	
1998年6月	新泉社	共著／山本正美裁判関係記録・論文集－真説『32年テーゼ』前後	刊行委員会	柴山健太郎／「あとがきに代えて 山本正美の業績」
“				

1998年6月号	労働運動研究	欧州統合の深化・拡大と欧州社会民主主義の挑戦(4)	柴山健太郎
1998年7月号	労働運動研究	欧州統合の深化・拡大と欧州社会民主主義の挑戦(5)	柴山健太郎
1998年8月号	労働運動研究	欧州統合の深化・拡大と欧州社会民主主義の挑戦(6)	柴山健太郎
1998年9月号	労働運動研究	欧州統合の深化・拡大と欧州社会民主主義の挑戦(7)	柴山健太郎
1998年11月下旬号	賃金と社会保障	保守政権から社会民主主義の政権へ	柴山健太郎
1999年2月号	労働運動研究	ブレア労働党の「第三の道」をめぐるイギリス左翼の論争	訳・解説／柴山健太郎
1999年5月上旬号	賃金と社会保障	欧州議会選挙と欧州社会党の21の公約と欧州雇用協定(上)	訳・解説／柴山健太郎
1999年5月下旬号	賃金と社会保障	欧州議会選挙と欧州社会党の21の公約と欧州雇用協定(下)	訳・解説／柴山健太郎
1999年7月号	労働運動研究	欧州議会選挙における欧州社会党の敗北	柴山健太郎
1999年8月上旬号	賃金と社会保障	試練に直面する欧州社会党	柴山健太郎
1999年9月号	労働運動研究	欧州社会党(PES)の女性憲章	柴山健太郎
2000年2月号	労働運動研究	トーマス・マイヤー「ゴードスベルク綱領から『新しい中道』へ」	柴山健太郎
同上	同上	比類なき政治感覚と闘志－佐和慶太郎さん逝く	柴山健太郎

2000年6月号	労働運動研究	EU リスボン・サミット決議「情報技術(IT)革命下における社会・経済戦略」(上)	訳／柴山健太郎	
2000年7月号	労働運動研究	「情報技術(IT)革命下における社会・経済戦略」(下)	訳／柴山健太郎	
2000年10月号	労働運動研究	書評／油井喜夫『虚構—日本共産党の闇の事件』	柴山健太郎	
2000年11月	社会評論社	グローバル経済とIT革命	柴山健太郎	
2001年1月号	労働運動研究	シンポジウム／『20世紀社会主義の検証』	開会挨拶／柴山健太郎	
2001年4月号	技術と人間	ミヒヤエル・エールケ「欧州農業のチェルノブイリー狂牛病危機とEUの共通農業政策」	柴山健太郎	
2001年4月号	労働運動研究	ヨーロッパ社会主義—その生けるものと死せるもの(上)	柴山健太郎	
2001年5月号	労働運動研究	ヨーロッパ社会主義—その生けるものと死せるもの(中)	柴山健太郎	
2001年6月号	労働運動研究	ヨーロッパ社会主義—その生けるものと死せるもの(下)	柴山健太郎	
2001年10月号 (第384号)	労働運動研究(本号で一時休刊)	『労働運動研究』誌の32年の歩みを振り返って	柴山健太郎	
2001年12月	1・9会	1・9会文集第5集	柴山健太郎	「東大細胞の知性と現状認識の間」
2002年3月号	労働運動研	同時多発テロとEU	柴山健太郎	

(通巻385号)	究〈復刊第1号〉	中道左派政権		
2002年3月上旬号	賃金と社会保障	海外派兵・テロ対策で揺れるドイツ政治	柴山健太郎	
2002年7月号	労働運動研究	日本—先進国から脱落の危機と再生への戦略	柴山健太郎	
2002年12月	社会評論社	一柳茂次『著作・回想』	柴山健太郎	「回想／一柳茂次の業績」
2002年12月上旬号	賃金と社会保障	ドイツ社民党の薄氷の勝利とドイツ政治の今後	柴山健太郎	
2002年12月号	労働運動研究	欧州における右翼ポピュリズムの台頭と現代社会民主主義(上)	訳・解説／柴山健太郎	
2003年1月合併号	賃金と社会保障	ミヒャエル・エールケ「ヨーロッパにおける右翼ポピュリズム」	訳・解説／柴山健太郎	
2003年4月号	労働運動研究	柴田友秋さんの急逝を悼む	柴山健太郎	
同上	同上	欧州における右翼ポピュリズムの台頭と現代社会民主主義(中)	柴山健太郎	
2003年8月号	労働運動研究	欧州における右翼ポピュリズムの台頭と現代社会民主主義(下)	柴山健太郎	
2003年8月号	労働運動研究	「米国売り」を加速させたイラク戦争	柴山健太郎	
2003年12月号	労働運動研究	深まるブレア労働党のジレンマ	柴山健太郎	
2004年2月下旬号	賃金と社会保障	『より良い世界の中の安全な欧州』 欧	訳・解説／柴山健太郎	

2004年4月	労働運動研究	州安全保障戦略全文 ブッシュ軍事戦略に 対抗する EU「欧州 安全保障戦略」	柴山健太郎	
同上	同上	「より良い世界の中 の安全な欧州」 欧 州安全保障戦略	訳・解説/ 柴山健太郎	
2004年8月	労働運動研究	政権党に不満が噴出 した EU の欧州議会 選挙	柴山健太郎	
2004年12月号	労働運動研究	日露戦争 100 周年ー 栄光の陰に隠された 真実	柴山健太郎	
同上	同上	公正なグローバル化 をめざす ILO の挑戦	訳・解説/ 柴山健太郎	
同上	同上	「強い米国」か 「弱いドル」か、深 まる第 2 期ブッシュ 政権のジレンマ	柴山健太郎	
2005年4月号	労働運動研究	松江澄さんを偲ぶ	柴山健太郎	原水禁運動の先駆 者・松江澄さん逝く
2005年7月	新泉社	山本正美治安維持法 裁判陳述集	編・監/刊行委 員会	柴山健太郎「山本 正美の天皇制分析」 坂東健一「日本帝国 主義と戦争」
2005年8月号	労働運動研究	イラク戦争反対の逆 風の中のブレア労働 党の苦い勝利	柴山健太郎	
2005年12月号	労働運動研究	ドイツ連邦議会選挙 における左翼党躍進 の政治的背景	柴山健太郎	
2006年4月号	労働運動研究	書評/スーザン・ジ ョージ著『オールタ ー・グローバリゼー ション』	柴山健太郎	
2006年8月号	労働運動研	ミヒヤエル・エール	訳・解説/	

	究	ケ「中東欧加盟後の EU に何が生じてい るか?」	柴山健太郎
2006年12月号	労働運動研 究	安倍改憲政権におけ る侵略性の研究	柴山健太郎
2007年4月号	労働運動研 究	世界最大の国際労働 組合総連合 (ITUC) の誕生	柴山健太郎
2007年8月号	労働運動研 究	シュピーゲル誌「世 界の政治と経済の中 心はアジアに移りつ つある」	訳・解説/ 柴山健太郎
2007年12月号	労働運動研 究	強まる内外の圧力 深まる福田政権のジ レンマ	柴山健太郎
2008年4月号	労働運動研 究	サブプライムローン 危機と「マネー敗戦 の教訓」	柴山健太郎
2008年8月号	労働運動研 究	『エコノミスト』誌 日本特集「ハイブリ ッド資本主義の道を 歩む日本」	解説・要約/ 柴山健太郎
2008年12月号	労働運動研 究	社会主義インター第 23 回大会声明	解説・抄訳/ 柴山健太郎
同 上	同 上	海図なき世界への船 出ー前途多難なオバ マ政権	労研国際部
2009年4月号	労働運動研 究	オバマ政権の「時間 との戦い」	柴山健太郎
同 上	同 上	ドイツの軍事オンブ ズマン制度から何を 学ぶか?	労研国際部
同 上	同 上	「アジアの世紀」に 対応する長期戦略の 構築を	柴山健太郎

